

富山県議会だより

県民目線で、
議会をわかりやすく！

富山県議会だより 第3号 令和5年2月号
発行／富山県議会・編集／富山県議会広報編集委員会
TEL 076-444-3405 FAX 076-444-3471

デジタル版も
ご覧いただけます



<http://www.ginkocho.tu.jp/jp/area/>

TOYAMA シーカーナル Vol.3



特集 何でも値上がりだらけで…
私たちの暮らしはどうなったの!?

▷新人議員の紹介

▷令和5年2月定例会③A

新しく県議会議員の皆さんをお出で下さい

▷あなたの推進力を教えて!

生活者
支援

省エネ家電でポイントが!

✓省エネ家電買い換え促進による 生活者支援事業

エネルギー価格高騰による家計の負担の軽減及び家庭での省エネを図るため、省エネ性能の高い家電製品の購入者に対し、品目に応じたポイントを交付し、買い換えを促進。

▼環境政策課 076-444-8727
<https://toyama-shoenekaden.jp/>

毎月の光熱費でママも頭を悩ませてる。
お得なポイントがもらえるこの機会にエアコンを
買い換えましょう、ねえパパ！

何でも値上がりだらけで…



生活者支援



食べ盛りの子を抱える子育て世帯には、
助かる制度ね。さくらもたくさん食べるから学校
給食の質の維持はとっても助かるわ。

生活者
支援

LP ガス家庭にも支援を!

✓LP ガス料金負担軽減支援事業

国の負担軽減策の対象外となっているLPガス
消費者を支援するため、LPガス小売事業者に対し、
割引原資を助成。

▼商工企画課 076-444-3243



最近光热水費の値上げが
続いて大変だわ。
我が家はガスだから
とってもありがたいよ。



子育て世 帯にやさしく!

✓子育て世帯生活支援 特別給付金 (ひとり親世帯分)

食費等の物価高騰により影響を
受ける低所得のひとり親世帯を支援。

▼こども未来課 076-444-3209
<https://www.pref.toyama.jp/120102/kurashi/kyouiku/kosodate/hitorijo/kosodatekyuu/fukin2.html>

✓学校給食等 物価高騰対策事業

物価高騰により影響を受ける県立学校における
給食等の質を維持するための費用を補てん。

▼教育企画課 076-444-3431
保健体育課 076-444-3460



さくらファミリーと
県議会について学んでいこう！



生徒会活動経験から「多くの人に魅力を発信して、富山を元気
にしたい」と政治家を目指す高校3年生のさくら。活発なさくら
の行動にハラハラドキドキさせられながらも、いつも優しく見
守ってくれる元コギャルの母。家族のために一生懸命働くバ
バと近所のご高齢のおばあとの4人家族。



表紙キャラクターは、アンドロイドに因した「さくら」です。
昭和や平成から近未来まで、世代を超えてナビゲー
トします。ほかのアイテムや富山ならではの風物詩を、
ぜひ皆さんで探して楽しんでください。

【特集】私たちの暮らしはどうなるの!?



4月の選挙後の5月2日に臨時議会が行われました。新人議員10人を含む全40人の議員に
価格・物価高騰対策などを盛り込んだ、およそ45億円の補正予算案を審議しました。県民
活動を守るため、スピード感をもって編成された補正予算の内容をご紹介します。

より、エネルギー
の暮らしと事業活



事業者支援

◇中小企業等への支援

私が働くときには、もっと
働きやすい環境になってほしい！



**正規雇用化や
処遇改善を後押し！**

✓富山県キャリアアップ奨励金

県内中小企業の賃上げ環境の整備に向け、国の
「キャリアアップ助成金」と連動し、非正規雇用
労働者の正規雇用化や処遇改善を促進。

▼労働政策課 076-444-8897
https://www.pref.toyama.jp/1303/sangyou/roudou/roudoukogyo/career_up_syourei.html

5月補正予算の概要
一般会計5月補正予算額
45億3,739万円

エネルギー価格や物価高騰等による県民
生活や事業活動への影響に迅速に対応するた
めに必要となる予算を計上。

これまでの支援等を踏まえたうえで、不足
が見込まれるものには新たな支援を追加。

省エネ、省資源対策を応援！

✓中小企業ビヨンドコロナ補助金 (エネルギー価格高騰対策分)

物価やエネルギー価格の高騰により影響
を受けた県内の事業者の省エネ、省資源対
策の取組みを支援（優先採択の要件に「パー
トナーシップ構築宣言登録」を追加）。

▼地域産業支援課 076-444-3249

<https://www.pref.toyama.jp/1300/sangyou/shoukoukensetsu/shoukaigyou/beyond20230605.html>



✓パートナーシップ構築推進事業

県内経済団体が行う適正な価格軒輊の実現に向けた
普及啓発等の取組みに対して支援。



▼地域産業支援課 076-444-3249

「パートナーシップ構築宣言」ロゴマーク

◇農林水産事業者への支援

農業者の肥料・燃料コスト低減支援をはじめ、
畜産農家の飼料費や林業・木材産業、漁業者等
の光熱費高騰に対する支援。

◇観光・交通事業者への支援等

公共交通等の燃料価格高騰分に対して支援するとともに、黒部宇奈月キャニオンリートの一般開放に向けたインバウンド受け入れ体制の整備。

◇社会福祉施設、保育所、 医療機関等への支援

高齢者施設、障害福祉施設、こども関連施設、
医療機関、私立学校、指定管理施設等のエネルギー価格・物価高騰に対する支援。



うちの会社もいろいろ大変だから。
せっかくの機会だから、明日会社で
検討してみよう。

山崎 宗良(自由民主党③)

Q&A 3/2 一般質問

北アルプス横断道路構想推進

国は、長野県と富山県との連携が必要で、長野県の道路計画に位置付けられることが大切と言っている。長野県に働きかけるべき。



A 長野県の土木部で道路整備状況など定期的に意見交換している。また経済交流として商工会や観光協会との交流に必要な協力をする。
(市田和幸)

VOICE

長野県の道路計画に北アルプス横断道路構想が位置付けられるよう、富山県から積極的に働きかけて実現したい。首都圏と結ぶ夢の構想に期待している。



コラム

県議会議員ってどんな仕事?

県議会議員になるには、25歳以上で日本国籍を持つものであるという条件を満たさなくてはなりません。

県民の直接選挙によって選ばれた議員は、県民の多様な意見を県政に反映するために活動しています。

具体的には、議決機関と呼ばれる県議会で条例や予算など県政の基本的な方針を決定しています。知事をはじめとする執行機関は県議会で決められた方針に従って各種の事業を実施しますが、県議会は事業が県民のために行われたかの調査や検査などの監視機能も有しています。また、住民の負託を受けた県議会議員は、誠実に服務を行わなければならないということも法律に明記されています。

亀山 彰(自民党新令和会③)

Q&A 3/13 地域活性化

魅力ある立山鹿境の吊橋について

文化観光の視点からも魅力的かつ競争性の高いルートの整備「豊地帯である弥陀ヶ原から大日平の吊橋復元」などが望まれるがどうか。



A 弥陀ヶ原・大日平は、つり橋の復元により周辺性の向上など期待できる。環境省や立山町、地元の山小屋関係者と連携して取り組む。
(市田和幸)

VOICE

ラムサール条約湿地に登録された、立山の魅力向上など利便性や安全性を考慮したつり橋を、距離が長くなても標高が高い位置に設置すればいいのでは。

庄司 昌弘(自民党新令和会②)

Q&A 3/27 代表質問

富山県立武道館の基本設計見直しについて

「基本設計の見直しも含めた詰詰をしているところ」との発言があったが令和9年度中の開館を前提とし、どんな見直しを行うのか。



A 当初からの教育施設という原点に帰って物事を考えることも必要。開館時期については令和9年度中の開館に向けて最大限努力する。
(市田和幸)

VOICE

中学校では武道が必修化されており教育目標を実現する上で重要な役割を担っている。1日も早く教育施設として必要な富山県武道館の建設を推進すべき。



県議会議員ってどんな仕事?



澤崎 豊(自民党新令和会②)

Q&A 3/6 予算特別委員会

事業承継支援の取組みについて

本県の休業率あるいは解雇。事業承継の現状や2025年の推進者不在の状況をどのように捉え、事業承継支援に取り組んでいくのか。



A 休業率、解散の状況は345件。うち52.1%が黒字の企業。事業承継の多様なニーズに対応し必要な支援策を検討していく。
(中谷英治農林部長)

VOICE

団塊の世代が全員75歳以上になると同時に大産業時代がくる。特に若者による承継がスムーズに出来るような伴走支援の環境整備を諂るべきと考える。

横山 栄(自由民主党⑥)

Q&A 12/12 予算特別委員会

湾岸道路がおおしまパークゴルフ場を横断する事の課題

おおしまパークゴルフ場に飲食面があり、両岸道路を横断約4~5mの間隔があるとの事。越境を設置しない方法を考えるべき。



A 县としては、利用者の負担が少なくないうる段差を小さくし、例えばスロープなど横断方法の検討を進め理解を得るために努める。
(市井土木部長)

VOICE

パークゴルフは高齢者の健康面にも多大な貢献をしている。また、湾岸道路は道路としての機能を考え、工期15年と言わず1年でも早い竣工を望む。

稗苗 清吉(自由民主党⑥)

Q&A 3/14 予算特別委員会

新型コロナウイルス感染対策と富山県の実績について

- マスク着用ルール等や然の指導体制についてはどうか。
- 県内の医薬品の不適切な製造等が発生していることについてはどうか。



A 1. 国の広報等の情報発信等を見ながら周知に努めている。
2. 県と薬業界が連携した研修会の開催など信頼回復の取り組みを進めている。
(石田川村長・東洋会長)

VOICE

コロナの対応については、県をあげて取り組んで来られた医療スタッフのご努力に敬意。医薬品の不正問題は製造メーカー全体の品格が問われている。

大門 良輔(自由民主党②)

Q&A 3/21 地方活性化委員会

サイクリングの重要拠点の整備について

県外のサイクリストを呼び込むために県外のサイクリングに特化した重要拠点を市町村と連携して、整備してはどうかと考えるがどうか。



A サイクリング関係団体や民間事業者の意見を伺いながら、他県のサイクリングコースの先進事例の調査など情報収集に努めたい。
(近藤コンベンション・運営会員出澤氏)

VOICE

他県のサイクルルートにはサイクリングの重要拠点があり、県のシンボルとしてサイクリストが集まっている。富山県にも必要と考える。

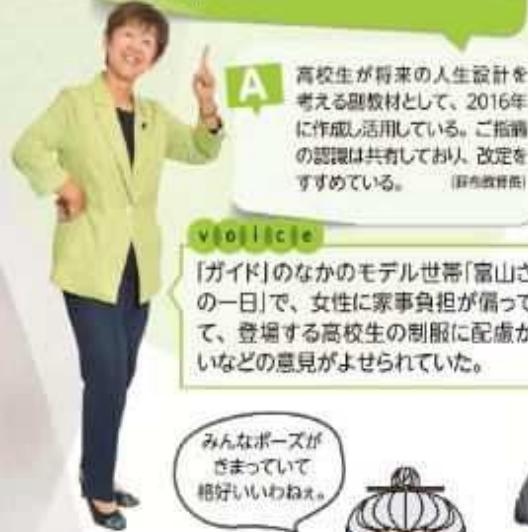


さらに詳しい情報は下記QR、TOYAMA ジーナルデジタルブックからもご覧いただけます。



火爪 弘子 (日本共産党⑥)

Q&A 2/27 予算特別委員会
「高校生ライフプランガイド」改定を
県教育委員会が高校生に配布する「ライフ
プランガイド」は、男女平等や性的
マイノリティへの配慮の観点から見直し
が必要では。



A 高校生が将来の人生設計を考える教材として、2016年に作成し活用している。ご指摘の認識は共有しており、改定をすすめている。(富山教育局)

voice 「ガイド」のなかのモデル世帯「富山さんの一日」で、女性に家事負担が偏っていて、登場する高校生の制服に配慮がないなどの意見がよせられていた。

みんなポーズが
さまっていて
相好いいわねえ。

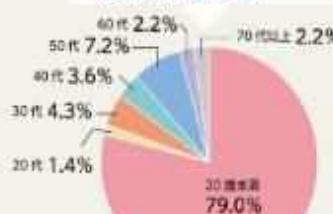


アンケート結果①

富山県議会だより「TOYAMAジャーナル」は、2022年7月に第2号を発行しました。
その際にアンケート調査を実施した結果は以下のとおりでした。



あなたの年齢は?
(回答は任意です)



県議会への関心が
ありますか?



県議会への関心度が
低いのは心配だわ。
家庭でも学校でも、
もっと政治にふれる機会が
必要なのかしら。



(有効回答数 150)

奥野 詠子 (自由民主党④)

Q&A 2/27 予算特別委員会

予算編成方針について

当初予算案並びに2月補正予算案の編成にどのような姿勢で臨み、工夫したのか、その特徴とあわせ所感を伺う。



A エネルギー価格や、物価の高騰を踏まえ、県民の暮らしや県内の事業者の経済活動への支援に、スピード感を持って最優先で取り組むことを念頭に置いた。(富田知事)

voice

代表質問とは、交渉会派が予算編成や政策の方向性、意義等を問い合わせ、知事の考え方の大枠を質すもので、議員各々の各論質疑に繋げていく役目がある。



種部 恭子 (自由民主党②)

Q&A 3/3 一般質問

多胎児を持つ親の子育て支援と子どもの事故防止

富山県ゆずりあいバーキング利用認制度は妊娠期及び産後1年までが利用対象だが、多胎の場合は安全確保のため3歳までに延長を。



A 多胎のベビーカーは通常の駐車スペースに置けず移乗時に目を離す時間がかかる。安全確保の観点から利用期間を3歳まで延長する。(富田知事)

voice

転倒・転落などの事故防止で守られる命を守るために第一歩。多胎児の親の心を折らない子育て支援は、虐待防止にもつながる。高く評価する。



藤井 大輔 (自由民主党②)

Q&A 3/3 予算特別委員会

「寿司」と言えば富山!から
広がる経済効果の発立ては?
「寿司と言えば富山」をブランディング
収益の核として「8,600万円」の予算を
計上。その経済効果はどう見立てている
のでしょうか?



A 県外の方に寿司をきっかけとし、富山の自然環境、歴史、伝統文化、食文化も含めたウェルビーイングな富山の魅力を広めてていきたい。(藤田知事)

voice

ブランディング戦略は徹底することが大事。寿司や日本酒等の特定事業者だけではなく県全域に幅広く効果が出るよう、県民への啓発を丁寧にしてもらいたい。



岡崎 信也 (立憲民主党③)

Q&A 3/6 予算特別委員会

行きたいところに行ける交通システムについて

地域のワンマイル交通を実現するにあたり。自治体の支援要望を聞き、そして住民負担を具体的に示す必要があると考える。



平木 柳太郎 (自由民主党③)

Q&A 3/1 一般質問

「こどもまんなか」社会の実現に向けて

4月1日にこども家庭庁が発足する。こどもたちの声、意見を県のこども施策に反映していくことが面面と考えるがどうか。



A 小学生から高校生約200人にこどもの居場所やこども食堂についてアンケートを行ったところ。今後の施策に意見を反映する。(内閣厚生長官)



voice

こども政策を政治のどまんなかに据えた社会を実現すべき。自分の声が行政に反映されるという経験は、未来を担うこどもたちにとって大きな力になる。



私も議員になって、
TOYAMAジャーナルに掲載されたい!

voice

日本の課題であるスタートアップ・エコシステム実現には、官民協力での支援が必要となる。固定概念にとらわれない富山独自の好循環を構築せよ!



永森 直人
(自由民主党④)

Q&A 3/6 施策検討会員
公立高校入試制度の
今後のあり方の検討について

県立高校の特色化と私立高校入試制度は
密接に連携しており、今後の高校教育の
あり方の検討に際し、入試制度もあわせ
議論すべき。

A 今後の高校教育改革にあわ
せて、入学者選抜のあり方に
ついて検討が必要であると考
える。
(新田知事)

Voice
知事が議会の場で、「入学者選抜のあり
方について検討が必要」と発言した意味
は重い。今後、高校のあり方の検討の
場で、しっかり議論してほしい。

八嶋 浩久
(自由民主党②)

Q&A 3/1 一般質問
「活用化」を実現した
観光客激励について

奥部宇奈月キャニオンルートの一般開放
を活かし、観光資源や祭り文化を組み込
んだ旅行商品を造成して観光誘客を図っ
てはどうか。

A 一般開放の効果が県内全体に行き渡
るよう、例えば「日本のベニス内川山等
の観光素材と組み合わせた提案・整備
を呼びかけている。
(南砺地方再生担当)

Voice
「1週間まるごと富山旅」というような
キャッチコピーを準備されるなど、立山
黒部エリアだけでなく呉西地区への周遊
促進にも取り組んでいただきたい。

瀬川 侑希
(自由民主党②)

Q&A 3/9 予算検討会員
「寿司と言えば富山」を目指す、
富山県のブランド戦略

8,800万円をかけて寿司を中心とした
ブランディング事業を行うが、県民の支
持がないと県外に発信しても上通りにな
らないか。
※5.15P(平成27年)より富山県第一回地域ブランディング事業(3,000万円)

A 寿司をきっかけに背景の自然・文化・食材など
富山県の認知を高めることが目的だが、情報
発信課、県内需要の面から県民実感も重要。
(三枝知事政策局長)

Voice

あれもこれもではなく、1点突破で「寿
司といえば富山」と発信するのは〇。
ただ、県民実感があつてこそ。外と内、
どちらも大事にしてほしい質問！

高校生の私でも、
議員さんたちは意外と
身近な存在に感じるわ！

アンケート結果②

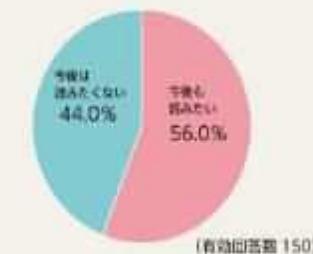
「TOYAMAジャーナル」は
読みやすかったですか？



「TOYAMAジャーナル」を
読んでみて、役に立ちましたか？



今後も「TOYAMAジャーナル」を
読みたいと思いますか？



「TOYAMAジャーナル」は、県内の高校生全員
へ配布され、主権者教育の一環として県議会で
行っている出前講座でも活用されているよ。



杉本 正
(会派 至誠⑦)

Q&A 3/3 一般質問

女性活躍の推進について

若い女性の流出超過は本県にとって顕著
の課題であり、「流出を減らす対策」と
「流入を増やす対策」の両面から総合的
に施策を進めるべきである。

A 流出を減らす対策は、経営者向けセミナーを
開催して女性活躍の必要性の理解促進を図る。
流入を増やす対策は、就職期の女性に選ばれる
県になるよう情報発信する。
(新田知事)

Voice

子どもを産む若い女性が県内にいないと、
子どもの数が増えない。



中川 忠昭
(自民党新令和会⑦)

Q&A 3/1 一般質問

県有施設の再編統合で

県都にふさわしいまちづくりを
県庁周辺の県有施設の再編統合を、富山市
と連携し、まちづくりのグランドデザイン
を描き、官民連携して整備すべき。



A まず、庁内PTを設置し、まちの活性化に資す
る活用方策について本格的な検討に着手する。
富山市と共に認証の下、グランドデザインを描
いていく必要がある。
(新田知事)

Voice

多くの駐車場を含む老朽化した県有施設の
再編統合をきっかけに、県都にふさわしい
まちづくりを、官民連携して民間投資を促
し、整備を進めるべき。

井上 学
(自由民主党③)

Q&A 3/12 予算検討会員
持続可能な中山間地域と
ゼロカーボンの実現について

持続可能な中山間地域の実現に向け、
ゼロカーボンの推進を組み合わせた取組み
や支援について、今後どのように取り組む
のか。



A 荒廃農地などに成長に優れた早生樹を植栽し、
バイオマス燃料として利用するなど、カーボン
ニュートラル農園に取り組みたい。
(新田知事)

Voice

中山間地域では、農地や森林の保全が
課題。これらを活かした地域課題
解決型のビジネスの創出に取り組み、雇用
を生み出すことが重要である。

津本 二三男
(日本共産党①)

Q&A 3/3 一般質問

一日も早く石炭火力から
再生可能エネルギーに移行を
石炭高麗による電気料金上げを抑えるた
めにも、一日も早く石炭火力から純国産
の再エネにシフトするよう北陸電力に
求められたい。



Voice
従来の政策立案の手法に
加え、今後、県民一人ひとりの
主観的な幸福度を測り、
それをどのように政策や施策
に反映していくのかが課題
と感じる。



A 北陸電力には温室効果ガス排出量削減という社
会的要請に応えながら、できるだけ安価で安定
的に電力を供給するよう働きかけていきたい。
(新田知事)

Voice

今回の大幅な電気料金値上げは輸入石炭などの
高騰によるもの。気候危機打開だけでなく、県
民生活のために石炭火力からの脱却が求めら
れている。



小矢部市 筱岡 貞郎 (自由民主党⑤)

Q&A 3/14 土木整備審議会委員会

富山米の消費拡大について

子育て世帯の支援と米の消費拡大の観点から小矢部市のように「お米引推進」を配布しています。また、富山米のPRに朝乃山閣を起用してインパクトを!



A 令和2年にひとり親家庭54人にお米券を配布した。また、朝乃山閣には、これまで日本橋とやま鉄などで協力してもらつた。さらなる消費拡大策を今後検討する。
(市長補佐官・政策課)

voice

子育て支援に子ども一人当たり10kgのお米券をR5年当初で小矢部市、補正で富山市が予算化した。富山県でもすべき!朝乃山閣は、超人気力士であり、もっと積極的にPRに起用すべき!

水見市 菅沢 裕明 (立憲民主党⑩)

Q&A 3/1 一般質問

物価高騰から暮らしを守るための賃上げの実現

県内中小企業の賃上げを県としてどのように実施していくのか、非正規雇用が増加する中で、県が主導で支援をするべき。



A 生産性向上を図るために、リスクリング支援や富山県賃上げサポート補助金に加え、ビヨンドコロナ補助金の補助率を引き上げ、これまで以上に取り組んでいく。

voice

非正規雇用が増加する中でお願いだけでは、賃上げが進む保証はない。県としてどのように賃上げを指導していくのか、その環境づくりが求められる。



高岡市 渡辺 守人 (自由民主党⑥)

Q&A 3/21 地域公共交通会議

地域交通とまちづくりについて

地域交通懇親会議の部会における、各市町村の立地適正化計画等のまちづくりや、鉄道公共交通との連携に対する意見はどうか。



A ふさわしいサービス水準の確保にはまちづくりとの連携が重要。市町村の立地適正化計画に軌道や駅を位置づけるなど、市町村の都市政策、まちづくりとの整合が欠かせない。
(富山交通審議会議員)

voice

新たな視点で公共交通政策の見直しが行われているが、私の地元の高岡市で取り組んでいる新たな中心市街地活性化基本計画をはじめ、市町村の立地適正化計画とリンクしていないと感じる。

高岡市 薮田 栄治 (自由民主党②)

Q&A 3/8 多目的施設会議

栽培漁業センターの活用について

栽培漁業センターは大規模な改修がなされ延滞観光の受け皿としても整備ができる。今後この施設を観光振興にどう活用していくか。



A リニューアルされた栽培漁業センターは産業観光や教育旅行の新たな拠点として期待する。県内外に積極的に紹介し、来客したい。
(農業振興部)

voice

令和5年春開所の栽培漁業センターは、子どもたちから大人まで楽しく学ぶことのできる施設として期待される。愛称なども募集しやすいに活用して欲しい。



高岡市 酒井 立志 (自由民主党②)

Q&A 3/10 学習特別委員会

高岡市のさかなのブランド化と販路拡大について

高岡湾の美味しい魚を全国の方々に味わってもらうためには、漁獲の安定化と更なるブランド化や販路拡大に取り組む必要がある。



A 新年度、富山の魚と米や日本酒等の食材を組合せたプロモーションを実施し、加えて新幹線や航空機輸送活用の利便性の向上を図る。
(市長補佐官・農林水産部)

voice

これまでの首都圏等へのPR施策結果を分析し、「富山の寿司」のPRと合わせて「富山の魚」のブランド化と販路拡大の更なる取り組み強化・展開を求める。



高岡市 鈴山 健史 (自由民主党②)

Q&A 3/2 地域公共交通会議

新幹線車両導入を目指す

氷見線・城端線 LRT 化懇親会で新型鉄道車両の導入が有力とされているが、収支、運営主体、営業面などをどのように考えているのか。



A 年間の維持管理費試算は約7.6億円、収入は約3.5億円(R3年度実績)。運営、経営面の体制は沿線市やJR西日本と共に検討していく。
(市長交通政策担当)

voice

人口減少、少子化が急速に進む状況のなかでの持続可能な公共交通の実現には、的確な需要予測によるデータを用いて運営や経営を検討していく必要がある。



高岡市 井加田 まり (立憲民主党④)

Q&A 3/10 多目的施設会議

新型コロナ「5類感染症」への位置づけと県の対応

感染拡大防止継続、新たな感染症に対応した医療・人材体制の確保、医療・介護現場などの感染防止対策への支援は引き続き必要。



A 新型コロナへの対応を検証し、今後の医療確保や人材育成など、感染症予防計画の策定・遂行を通じて、新興感染症に備えていく。
(保健部)

voice

日本のアニメ・マンガ・ゲームを活用したまちづくり(とやま JAPAN・ANIME・MANGA・PARK構想)の具現化に向けて、取り組む。



高岡市 山本 徹 (自由民主党⑥)

Q&A 3/14 土木整備審議会委員会

DXが進まない、そのわけ?

土木センターに、スマートフォンが少ないため、検査に時間がかかると聞く。DXを進め、時間短縮を図るべき。



A 現在、検査全体とすれば大きな支援は生じていない。今後、ICTや3次元測量などに即した検査体制になるよう、DXを進めていい。
(課長寺澤事務・課長技術企画室)



A 現状何とかなってるって意識が、DXが進まない理由。大事なのは、DXを進めて、どういう現場を作りたいのか、具体的なイメージを描くことだ。



2月定例会の主な審議結果

●予算

- ・令和5年度一般会計予算 6,326億5,505万円
- ①エネルギー価格・物価高騰対策
- ②重点政策別の主な事業
(少子化対策、子育て支援、女性活躍の推進、産業の活性化など)
- ③公共事業・主要県単事業など

- ・令和4年度一般会計補正予算 37億7,627万円
- ①エネルギー価格・物価高騰対策
- ②防災・減災など安全・安心の推進
- ③観光・交通需要の喚起

ホームページ・議会中継

県議会のホームページには、以下のような内容を掲載しています。

- 県議会の仕組みや役割
- 政務活動費の収支報告(競収書なども公開)
- 次の定例会の日程
- キーワードで検索できる会議録
- 各議員の顔写真や連絡先
- 県議会の最新情報をお届けするTwitterやFacebook

スマートフォンからでも簡単に
ホームページにアクセス



県議会のホームページで、本会議および予算特別委員会の生中継と
直近の本会議および予算特別委員会の録画中継がご覧いただけます。

令和5年2月の本会議および予算特別委員会の録画中継は令和6年2月末までご覧いただけます。

◇下記のケーブルテレビ局でも生中継を行います。

一部録画中継となる場合があります。

- | | |
|----------------|-------|
| ● みらいTV | 093ch |
| ● NICE TV | 092ch |
| ● Net3 | 091ch |
| ● ケーブルテレビ富山 | 121ch |
| ● 上越員ケーブルテレビ | 092ch |
| ● 越後ケーブルネットワーク | 092ch |
| ● 高岡ケーブルネットワーク | 121ch |
| ● 岩瀬ケーブルネット | 092ch |
| ● TV CROSS | 091ch |
| ● となみ衛星通信テレビ | 091ch |



富山県議会インターネット議会中継
<https://toyama-pref.stream.jltt.co.jp/>



富山県議会 HP

スマートフォンでQRコード
読み取ってオンライン視聴



議長のご挨拶

富山県議会議長 山本 徹



今年の4月26日に地方議会の位置付けや議員の職務等の明確化が盛り込まれた地方自治法改正法が成立しました。その中で議会は、「当該地方公共団体の意思決定を行うこと」「住民の負託を受け、誠実にその職務を行うこと」が明記されました。この改正を契機に地方議会と議員の役割、責任についてより多くの住民の方々に理解いただき、地方議会への理解関心を深めていくことが重要だと考えております。富山県議会でも「TOYAMAジャーナル」をはじめとした議会広報の充実や、「出前講座」などの主権者教育の推進を通じて開かれた議会を目指すことで、住民の負託を受けた議員としての役割を実現するために最大限努めてまいります。

編集後記

広報編集委員長 武田 慎一



任期満了に伴う4月の県議会議員選挙を経て、新たな委員による広報編集委員会の活動がスタートしました。議会広報紙「TOYAMAジャーナル」の発行は、今回で3回目。新たに選挙権を持つ18歳の若者をはじめ、県民の皆さんにもっと県議会について知ってもらいたい、議員の活動に興味を持ってもらいたいとの思いで制作しています。この広報紙は、富山県内すべての高校生に配布しているほか、議員が高校に直接出向く「出前講座」などでも活用し、主権者教育の推進に役に立っています。今後とも、皆様からのご意見を取り入れながら、読みやすく、分かりやすい広報紙づくりに努めてまいります。皆様の率直な意見をお聞かせください。

広く県民の皆様の声をお聴きするため、アンケート調査を実施しています。
右記 QR からアクセスしてアンケート専用フォームより回答いただけます。

アンケート専用フォームへ
ご協力をお願いいたします

